





## 「手話でつながる ひろがる」シナリオ




本資料は、動画①「手話でつながる ひろがる」のナレーション等を確認することができるシナリオ資料です。本動画を活用した授業づくり等の際にぜひご活用ください。



<計 10分12秒>


映像	タイム	ナレーション / セリフ
<オープニング> 	00:00	—
<東京 2025 デフリンピック> 	00:08	(会場の歓声)
	00:12	2025年の秋、世界の人々が東京に集まり、デフリンピックというスポーツ大会が開かれました。
	00:28	実はこの大会、よく見ると、選手のために特別な工夫が行われています。
	00:38	それは、スタートの合図。
	00:48	音ではなく目で見てわかるように、ランプの光で合図を出しています。
	00:59	デフリンピックは、耳のきこえない人や、きこえにくい人たちのためのオリンピックなのです。
	01:13	選手やお客さんが、話をするために使っているのは
	01:18	手話。 手や指、そして表情なども使って、会話をしています。
	01:28	世界中で大勢の人たちが手話を使っています。

	01:38	日本では2025年に、 手話を大切にしようという法律ができました。
<p>&lt;手話による会話&gt;</p> 	01:51	みなさんは、手話を見たことがありますか？ 難しそうに見えるかも知れないけど、 動きをじっくり見ると、 何を言っているのか、連想できる手話もあるんです。
	02:09	では、手話の会話を見てみましょう。 何を話しているのか、想像してみてください。
<p>●【手話実演(2人の会話)】</p> <p>待つAさん、駆け寄るBさん</p> <p>Bさん Aさん</p> <p>Bさん Aさん</p> <p>Bさん Aさん Bさん</p> <p>歩き出す2人</p>	02:18	(※手話 字幕なし)
●巻き戻す	02:58	みなさんどうでした？ もう一度、字幕つきで見てください。
<p>●【手話実演(2人の会話)】</p> <p>待つAさん、駆け寄るBさん</p> <p>Bさん Aさん</p>	03:05	(※手話 字幕あり)

<p>Bさん Aさん</p> <p>Bさん Aさん Bさん</p> <p>歩き出す2人</p>		<p>「お昼ごはん、何を食べる？」 「わたしはラーメンを食べたい」</p> <p>「いいね わたし もうお腹ペコペコ」 「じゃあ、いこう!」 「うん」</p>
  	<p>03:46 ふたりはお昼ご飯の話をしていたんですね。それでは、いくつかの手話を、もう一度見てみましょう。</p> <p>03:56 まずは、こちら。 人差し指と中指を時計の針に見立て、二本が重なる12時で、お昼を表しています。</p> <p>04:08 続けて、おじぎするように指をまげて、あいさつを表します。 ふたつ、合わせると・・・ お昼のあいさつ、こんにちは。</p> <p>04:24 つぎは、ラーメン。 指を箸に見立て、麺をすする仕草で、ラーメンを表現しています。</p> <p>04:40 かおにも注目してください。 お腹がペコペコなときは、ちょっとつらい表情を。</p> <p>04:50 手話では、表情や口のかたちも大切な表現手段になります。</p> <p>04:56 みなさんも、練習すればたくさんの手話を身につけることができますよ。</p>	

〈手話を楽しむ高校生〉		
	05:05	<p>実際に、手話を身につけて、豊かに表現している人は、たくさんいます。</p>
	05:15	<p>愛媛県の済美平成中等教育学校(さいびへいせいちゅうとうきょういくがっこう)の生徒たち。課外活動で、手話を学んでいます。</p>
 <p>手話ひとつひとつに意味があって</p>	05:38	<p>(インタビュー) 手話ひとつひとつに意味があっておぼえるのもすごくたのしい。</p> <p>こうやって耳のきこえない方ともコミュニケーションがとれていくんだなと思ったらめっちゃたのしい。</p> <p>ろう学校のともだちとかと関われるのがたのしい。</p> <p>ろう者のともだちがたくさんできてとてもたのしい。</p> <p>ものの見方が大きく変わった。</p> <p>おたがいによりそいあって、(手話は)本当の意味でのコミュニケーションを表してくれている。</p>
 <p>全国高校生手話パフォーマンス甲子園</p>	06:06	<p>(演劇セリフ「私は変わりたい」・・・)</p>
	06:08	<p>生徒たちが学びの成果を披露しているのが、全国高校生手話パフォーマンス甲子園。</p>
	06:18	<p>全国の高校生が、ダンスや歌、演劇などを手話で披露し、表現力を競いあう大会です。</p>
	06:28	<p>(演劇セリフ「いつも簡単に頼ってくる」・・・)</p>
	06:38	<p>耳のきこえない・きこえにくい生徒が通う松山聾学校の高校生と、合同チームを組んで参加しました。</p>

	06:47	(演劇セリフ「会話に入れない僕の」・・・)
	<p>06:58</p> <p>07:20</p>	<p>松山聾学校の生徒にとって、 合同チームへの参加は新鮮な経験でした。 ほかの学校に通う高校生と手話で話をしたこと で、 たくさんのことを学んだそうです。</p> <p>(インタビュー) 自分の価値観とか考え方もいろいろ 合同チームに参加する前と後では大きく変わりました。 手話を使って耳のきこえる人と交流できたことで さびしいと思うことはほとんどなくなりました。 自分から「こうしてほしい」と言うことが大事だとい うことを学びました。 手話を使えるきこえる人たち(高校生)と関わるこ とで 自分の視野が広がったように思います。</p>
	<p>08:00</p> <p>08:14</p>	<p>済美平成中等教育学校の生徒たちも、 ろう学校の生徒たちとの交流から、 さまざまなことを学んでいます。</p> <p>(インタビュー) ろう者が手話で会話をしていたらやくてついてい けなくて、 ゆっくり手話をするのは会話をとめてしまうことだ から、 わたしからしたら、もうしわけなさがずっとあって。 だけど、それをろう学校の生徒さんに相談したこ とがあって、 その人が言ってくれたのが、 手話と一緒に話したいという気持ちがあるから、 悩むことじゃないよと教えてくれた。 ろう学校の子とであえたから不安もなくなったし、 手話をこころの底からたのしめるようになった。</p>

	<p>09:01</p> <p>09:11</p>	<p>こうした経験は、より深く、手話の魅力を知ることにもつながりました。</p> <p>(インタビュー) 手話はほかの言語よりも、表情や表現力が本当に大切で、 自分の気持ちをまっすぐにいちばん伝えられる言語だと思う。 遠まわしな言い方ではなくて 「たのしい」や「うれしい」という気持ちをいちばんまっすぐ伝えられるということは、 気持ちをいちばん共有できるということ。 手話で話しているときは本当にたのしい。</p>
	<p>09:48</p> <p>09:53</p> <p>10:02</p>	<p>みなさんも、手話で話をしてみませんか？</p> <p>別の動画では、たくさんの手話の表現方法をわかりやすく解説しています。</p> <p>手話を学び、手話をたのしみましょう。</p>